

令和6年度ホタテガイ採苗情報（第11報）

令和6年6月20日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



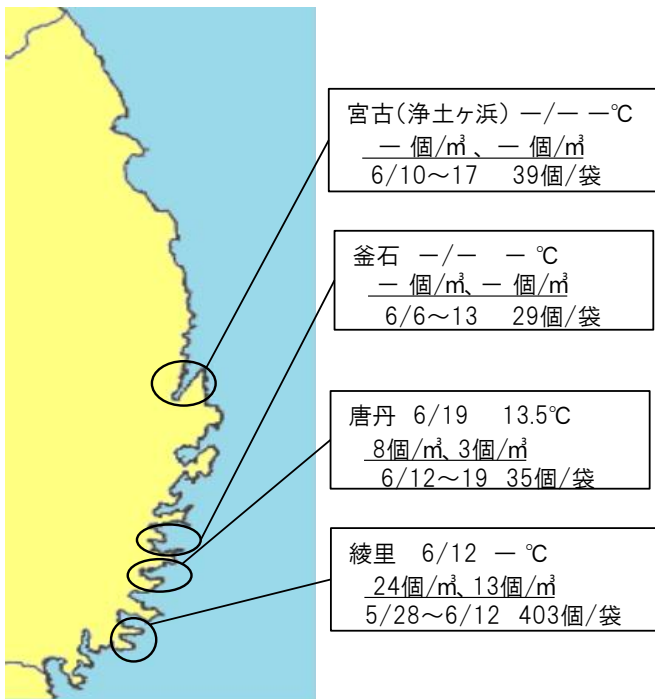
地域差がありますが、ホタテガイの付着稚貝の出現が継続しています。採苗器の投入を続けてください。

< 調査結果の概要 >

- 6月19日の唐丹湾の水温は13.5℃、透明度は9mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが8個/m³（昨年同時期：57個/m³）、200μm以上の大型のラーバが3個/m³（同：11個/m³）出現しました。
- その他のラーバ出現数は、ムラサキイガイが10個/m³、キヌマトイガイが26個/m³、エゾシカゲガイが8個/m³、その他が20個/m³でした。
- 地域で差がありますが、稚貝の付着が継続しています。採苗器が残っているところは、採苗器の投入を続けてください。

< 噴火湾の状況（ホタテガイ採苗情報第12号（6月18日発行）） >

- 付着稚貝（垂下期間：6/10・11～17）は、例年より少ない（92、920個/袋）。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月28日頃に
発行する予定です。

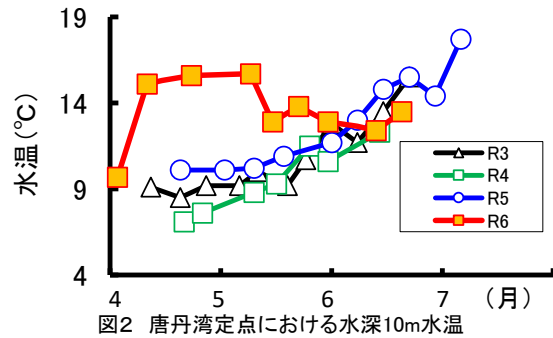


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

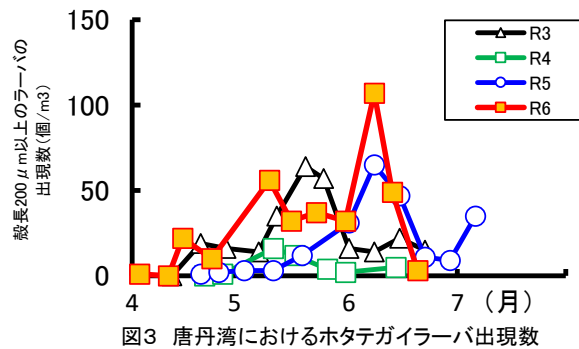


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

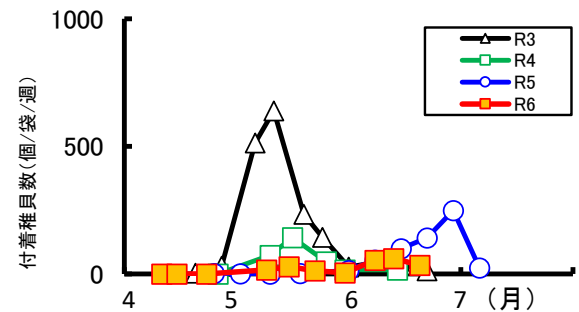


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数